

愛知県におけるがん登録情報還元の試み

健康ゲームソフト「がん予防のための生活習慣チェックプログラム」の紹介

井上 真奈美*

愛知県の地域がん登録では、1998年に厚生省老人保健強化特別推進事業をもとに既存がん登録システムの大幅な見直しを行ったが、これを契機に、がん登録情報の県民への還元や、地域がん予防対策の具体的な推進事業の必要性が高まってきた。

これを受けて、愛知県では、健康福祉部健康対策課とがんセンター研究所疫学・予防部とが共同し、健康対策事業の一環として、健康ゲームソフトを開発した。このゲームソフト運用のねらいは、県民一人一人のがんリスクを評価し、同時にがんに関する知識を普及することであり、地域住民が自身の生活習慣の歪みをゲーム感覚でチェックし、がんになりにくい生活習慣を工夫していくための知識を獲得していくように設計されている。そして特記すべきは、この健康ゲームソフトを構成しているがん予防の情報が、過去10年間に県がんセンターを受診し生活習慣を含む病院疫学調査(HERPACC)に参加した7万人の地域住民の協力により得られていることである。

このソフトは、県下の保健所や市町村など、地域保健の拠点において地域がん予防を推進していくためのツールとして、積極的な活用を図る。



*愛知県がんセンター研究所疫学・予防部